

1 3 5 6	● 九月です。 ● ソバ農家の近藤さんが種をまいておよそ一か月。 ソバの花が一斉に開き、
1 3 5 2	● 下條の里で秋の桜、コスモスが鮮やかに色づきました。
1 3 4 3	九月 ● 下條村の大根も収穫は秋です。
1 3 3 3	(NO)
1 2 5 9	● さすが、ご夫婦の息はぴったりですね。
1 2 4 3	● 小さな種を、一粒一粒、丹念に手作業で。 骨の折れる仕事です。
1 2 2 9	● 土の栄養を取り合わないよう均等に間隔を開けて種を巻いていくのがコツ。
1 2 2 0	● 下條村の親田地区でしか作られない 辛味大根の種。
1 1 5 4	(NO) ● この日は種まき。 畑にお邪魔します。
1 1 4 2	● ご夫婦が栽培するのは大根。 先ほどの上田の山口大根とは種類のちがう伝統野菜です。
1 1 3 4	● ここ下條村でも、伝統野菜の種まきが 始まるうとしていました。
1 1 2 9	● まとまった雨が降った八月の末。

1430	<p>一面、白いじゅうたんをひいたような景色が広がります。</p> <p>十月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 秋風が吹き始める十月。 ● 下條村の大根はいよいよ収穫の時を迎えました。 ● 丸みをおびた独特の形。 <p>これぞ下條村の伝統野菜「親田<small>おんだ</small>辛味大根」です。</p>
1454	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なかなか豊作のようですね。
1551	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全国の飲食店から引く手あまたで生産が追いつかないという親田<small>おんだ</small>辛味大根。
1611	<ul style="list-style-type: none"> ● 降ろし専用の大根で、おソバや焼き魚に重宝されます。
1620	<ul style="list-style-type: none"> ● 一瞬の甘味があって、後からピリリと辛味が来る。地元では「あまからびん」っていうんですって。
1628	<ul style="list-style-type: none"> ● 相性がいちばん良いのはもちろん信州ソバ。
1638	<p>(NO)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一方の上田市。
1712	<ul style="list-style-type: none"> ● りんごが真っ赤に染まった山口地区でも伝統野菜の大根が収穫の時を迎えていました。
1716	<ul style="list-style-type: none"> ● こちらは「山口大根の会」の皆さんが
1728	<ul style="list-style-type: none"> ● 人海戦術で収穫に臨みます。

1749	<ul style="list-style-type: none"> ● 上田市の伝統野菜「山口大根」。 見慣れた大根の形とはずいぶん違いますね。
1759	<ul style="list-style-type: none"> ● 水分が多く、甘みが強いのが特徴だそうです。
1813	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦後絶滅しかけた地大根^{じだいこん}。 失われていた味が、農家の方の努力によって再び蘇ろうとしています。
1830	<ul style="list-style-type: none"> ● かつて上田の大根と言えばこの形だったんだそう。ずんぐりとした、なんだかとても愛嬌のある形ですね。
1927	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな風に食べるのがおいしいんですか？
2004	<ul style="list-style-type: none"> ● 採れたての大根をおすそ分け。 少し前まで土の中にいた新鮮な大根です。
2030	<ul style="list-style-type: none"> ● かつてはこの地区のほとんどの農家が栽培していたという山口大根。 いつも食卓にはたくあんがあるという懐かしい風景も復活しそうです。